

平成29年 第9回

宮崎市教育委員会（定例会）

会 議 録

平成29年 第9回宮崎市教育委員会定例会会議録

1 日 時 平成29年8月22日（火）13：40～16：00

2 場 所 教育委員会室

3 出席者 【教育長・教育委員】

二見教育長、松野代表教育委員、畠山委員、江草委員、柳田委員

【事務局】

小泉教育局長

（企画総務課）本村課長、山本補佐、鍋島主幹、久保係長、
佐藤主査、田中主査、黒田主任主事

（学校施設課）佐土課長、大住補佐

（学校教育課）松竹課長、田口補佐、黒木補佐

（教育情報研修センター）荒武所長、平山次長

（生涯学習課）矢野補佐

（保健給食課）横山課長、和田補佐

（文化財課）羽木本課長、小窪補佐

4 議 案

番 号	件 名	説 明 者
議案第25号	平成28年度一般会計歳入歳出決算の原案について	教育局長 各課長
議案第26号	平成29年度一般会計補正予算案の原案について	教育局長 企画総務課長 学校施設課長 学校教育課長

5 報 告

番 号	件 名	説 明 者
報告第37号	宮崎市行政改革推進本部会議の報告について	企画総務課長 補佐
報告第38号	公益財団法人宮崎文化振興協会の経営状況について	生涯学習課長
報告第39号	平成29年度第1回宮崎市生目の杜遊古館運営委員会について	文化財課長
報告第40号	その他の事件の報告について	学校教育課長
報告第41号	臨時代理の報告について	学校教育課長

二見教育長	<p>それでは定刻になりましたので、ただ今から、第9回教育委員会定例会を開会いたします。傍聴者はございません。会次第「2 会議録署名人の指名」です。本日の会議録の署名人は、私二見と、柳田教育委員を指名させていただきたいと思いますが、よろしいでしょうか。</p>
委員	<p>(異議なし)</p>
二見教育長	<p>それでは会次第「3 行事報告等」に入ります。1ページをご覧ください。「(1) 教育長報告」です。</p> <p>8月9日(水)～10日(木)に教育情報研修センターで開催されました「平成29年度宮崎県市町村教育長連絡協議会研修会」についてご報告します。2ページをご覧ください。県内の教育長が集まっの研修会ということで、部会としては例年、教育行財政、学校教育、生涯学習と3つございます。私は第2部会である学校教育に参加いたしました。どの学校にも、どの子どもにも誇りをとった視点で協議を深めたところでした。いじめの予防という対応を協議の柱に話を進めました。2日目は全体会として各部会の報告を全て受けたところであります。なお、毎年、1日目の夕方以降に情報交換の場を設けています。和気藹々とした雰囲気でした。県と市町村が一緒になって進める事案は多くありますので交流を深める良い機会になったと思ったところでした。</p>
	<p>次に、1ページにお戻りください。</p> <p>「(2) 委員報告」でございます。8月3日(木)から4日(金)に宮崎観光ホテルほかで行われた、「平成29年度九州地区市町村教育委員会連合会総会及び第12回九州地区市町村教育委員会研修大会」について、松野代表教育委員に報告をいただきます。</p>
松野代表教育委員	<p>それでは、3ページをお開きください。本年度の九州地区市町村教育委員会連合会総会、第12回九州地区市町村教育委員会研修大会を8月3日(木)から4日(金)宮崎観光ホテルで開催いたしました。3日の午前中に総会が行われ、二見教育長と私が代表で参加しました。午後が研修大会です。九州各県が2年間の持ち回りで、16年ぶりの本県での開催でした。大変良い勉強をさせていただきました。特に事務局の皆さんのご努力に頭が下がっているところがございます。本当にありがとうございます。内容の概略を申し上げますと、総会につきましては、記載のとおりでございますので、省略させていただきます。研修大会は、九州各地から728名の教育委員の参加がありました。まず、教育講演「自然教材としての都井岬～家畜をやめた現代の野生化馬～」というタイトルで、串間市のエコツーリズム推進室の 秋田 優 様に講演をいただきました。いろいろ興味深い話がありました。例えば、翁草という植物は毒をもっているの馬は絶対に食べないそうです。このようなことは、野生の中で育つ馬は自然と分かっているものさそうです。もうひとつ興味深かったのは、糞で相手の馬の匂いを消すということです。これも自然界には自然界のルールがあるのだと聞かせていただきました。</p> <p>その次のパネルディスカッションでは、「産官学の連携によるキャリア教育の推進～産業界が果たすべき役割と責任～」と題して、県キャリア教育支援センターのトータルコーディネーターの 水永正憲 様をはじめ、日向商工会議所専務理事、日向市商工観光部長、日向市教育委員会今村教育長、財光寺小学校校長の皆様がパネラー</p>

	<p>として出席されまして、日向市を中心とした県北の取組を紹介していただきました。なお、情報交換会では、ここにいらっしやいます 畠山教育委員、村上三絃道様にオープニングセレモニーで刈り干し 切り歌をご披露いただきました。アトラクションでは、日向ひよっ とこおどりがあり、大変好評を得たところであります。なお、8月 4日は研修視察ということで綾町と青島の2コースに分かれて、綾 町の方にバス5台、青島の方にバス3台という形で実施させてい いただきました。以上です。</p>
二見教育長	<p>次に、1ページの(3)教育局長報告でございます。まず、8月 7日(月)から8日(火)に高木兼寛顕彰事業の一環として特別大 使が東京都へ派遣されていまして、教育局長から報告をお願い します。</p>
小泉教育局長	<p>資料4ページをご覧ください。8月7日(月)から8日(火)に 市内の中学生2年生8名と高岡中学校の校長先生、私と生涯学習課 の職員で行ってまいりました。事業の趣旨は記載のとおりです。参 加した生徒達それぞれ何人かは医学の道に進みたい、看護師になり たいという子どもたちでしたので、慈恵会医科大学で藤井学長に具 体的な質問も出ていました。この後10月14日に高岡中学校で穆 園学習会が開かれますので、その中で報告があると思います。以上 です。</p>
二見教育長	<p>次に、8月16日(水)から18日(金)にかけて行われた「安 井息軒顕彰・川口市小学生文化交流事業」について教育局長から報 告をお願いします。</p>
小泉教育局長	<p>5ページに概要がございます。参加者は、小学校6年生21名、 内7名がこの清武地区の子どもたちでした。幕末の安井息軒先生が 疎開していた、足立郡領家村というところでは非常に歓迎を受けま した。子どもたちも郷土の偉人が宮崎とは違った文化の中でどのよ うに過ごしていたのかなど、近所の方のお話も聞いて非常にいい体 験をしてきたと思います。また、川口市の職員が宮崎市清武町の出 身であることが分かりました。宮崎から川口市へ就職している先輩 の姿を見ることができ、子どもたちの刺激にもなったと思います。 今週の土曜日に発表会を予定しております。以上です。</p>
二見教育長	<p>それぞれ高岡、清武町時代の事業ですが、今は随分と範囲を広げ て市の事業として定着をし始めたということでもあります。</p>
	<p>1ページに戻りまして、「(4)各課行事報告等」でございます。 網掛けの部分については議事の報告の中で報告していただきます。 8月16日(水)から18日(金)に行われました「たちあがろう 未来を担う中学生交流事業及び防災教育セミナー」について事務局 から報告をお願いします。</p>
山本企画総務課長補佐	<p>先週の水曜から金曜までの3日間、たちあがろう未来を担う中学 生交流事業と防災教育セミナーが開催されました。まず資料6ペ ージになりますが、たちあがろう未来を担う中学生交流事業について でございます。東日本大震災から6年半が経過しております。これ まで本市において震災直後から被災地域であります山元町の中学 生を本市に招待いたしまして、本市の中学生との交流、あるいは体 験学習等を通して、被災地域の元気回復を応援してまいりました。 今回、山元町からは資料にございますとおり、交流团团長である 菊池教育長をはじめ、山下中学校それから坂元中学校の生徒代表 12名と引率者2名、計15名の交流団体を本市に招待しておりま</p>

	<p>す。交流事業の内容につきましては、資料6ページの行程表に掲載しております。特に、櫛中学校と青島中学校において開催いたしました交流会におきまして、両校ともに工夫を凝らした発表がございました。生徒会主催のレクリエーションにおきましては、生徒同士が一緒になって楽しく交流を図るなど、限られた時間ではございましたが、大変有意義な交流会となりました。2日目、17日でございますが、防災かまどを活用したピザ作りの体験活動を行いました。こちらは櫛地域まちづくり推進委員の皆さんのご協力を得まして、櫛中学校、宮崎中学校の生徒も一緒になり、防災かまどを活用し災害時の炊飯体験を通して防災についての知識を高めることができました。今回は2泊のうち1泊を櫛中学校の生徒のお宅でホームステイを実施いたしました。各ご家庭ではそれぞれ心を込めたおもてなしをいただきました。短い時間ではありましたが、様々な人の出会い、感動的な再会の場面もありまして、山元町の子どもたちは皆笑顔で宮崎を後にしました。宮崎市と山元町の絆が一層深まったことを実感した3日間になりました。また、今回多くの報道機関に取材をいただいたところでございます。MRTに3日間の密着取材を行っていただきました。今週の土曜日になりますが、MRTの「トコトン」という番組の中で交流事業の取組が紹介される予定でございます。16時30分からの放送予定とお聞きしておりますので、ぜひご覧いただければと思います。次に資料の7ページをご覧ください。交流事業の中日にあたりまして、17日に防災教育セミナーを開催いたしました。第6回となります今回は資料にございますとおり、団長であります菊池教育長にご講演をお願いいたしました。当日は松野代表教育委員、柳田委員にもご出席をいただきました。各学校からは、校長先生をはじめ、教頭先生や、防災主任の先生方にご列席をいただきまして、全体で127名にご参加をいただいたところでございます。報告は以上でございます。</p>
<p>二見教育長</p>	<p>次に、8月8日(火)から10日(木)に行われました「第20回九州都市中学生交流大会 大分大会」について事務局から報告をお願いします。</p>
<p>矢野生涯学習課長補佐</p>	<p>第20回九州都市中学生交流大会 大分大会について、ご報告いたします。資料の8ページをご覧ください。8月8日(火)から10日(木)まで、2泊3日の日程で大分市立のつはる少年自然の家で開催された第20回九州都市中学生交流大会に、住吉中学校の校長を団長に、本市内の中学2年生の生徒27名と、引率教諭4名、生涯学習課職員2名の計34名が参加しました。この事業につきましては、平成10年度の第1回大会から宮崎市は参加しておりますが、昨年度の第19回大会は、熊本地震の影響で中止となりました。今回の参加都市は、掲載のとおり、大分、鹿児島、熊本、宮崎の4市で、4市の中学生の代表が、野外での活動体験等の交流活動を通して、豊かな人間関係づくりや、次世代を担う青少年としての資質を育成する目的で交流活動を行っております。宮崎市団員は、引率教諭の指導のもと、大会に向けた3日間の事前研修を行い、交流の場では、劇と映像を使って大会を盛り上げ、宮崎を大いにアピールしました。また、2日目予定しておりました登山は、天候不良により中止になりました。代わりに、班に分かれて竹箸作りの体験やリーダーシップの研修活動も行ったということでございます。今後の予定ですが、24日に事後研修会ということで、最後の研修</p>

	<p>を行う予定です。なお、この大会につきましては、今回の第20回大会で事業が完了ということになり、本大会をもって終了することになりましたので、合わせてご報告いたします。以上でございます。</p>
二見教育長	<p>以上で行事報告等は終了ですが、お気付きになった点やこれからの課題、また感想がありましたら、お願いいたします。</p>
委員	<p>なし。</p>
二見教育長	<p>それでは、会次第「4 議事」に入らせていただきます。本日は、議案が2件、報告が5件となっております。では、まず議案でございます。9ページをお開きください。</p>
	<p>それでは、議案第25号「平成28年度一般会計歳入歳出決算の原案について」事務局から説明をお願いします。</p>
小泉教育局長	<p>それでは、議案第25号「平成28年度一般会計歳入歳出決算の原案」につきまして、議案第25号別紙1を使って説明いたします。まず概要をご説明いたしまして、主要施策等について各課長から説明いたします。それでは、12ページをご覧ください。歳入でございます。これは、教育委員会7課の歳入の決算をまとめたものでございます。45款分担金及び負担金から13ページ最後の90款市債まででございます。総額としましては、13ページの表の一番下の行に歳入合計を計上しておりますが、予算現額が15億1,607万5千円に対しまして、調定額が13億7,701万1447円、収入済額が13億4,265万7,947円、不納欠損額が23万2,400円、収入未済額が3,412万1,100円となっております。次に、不納欠損額の内訳を説明させていただきます。12ページの45款分担金及び負担金をご覧ください。不納欠損額が23万2,400円となっております。内容としましては、児童クラブ事業利用者負担金の滞納繰越分で、5年の時効で消滅したものでございます。次に、収入未済額の内訳を説明させていただきます。45款分担金及び負担金をご覧ください。収入未済額が124万6,900円となっております。内容としましては、児童クラブ事業利用者負担金の未収分でございますが、収納率は98.3%でございます。次に、55款国庫支出金をご覧ください。収入未済額が3,238万6千円となっております。内容としましては、国の緊急経済対策に伴い補正予算として編成された、「学校施設環境改善交付金」を活用した「小学校校舎外壁落下防止対策事業」及び「中学校校舎外壁落下防止対策事業」、「中学校トイレ改修事業」を平成29年度に繰り越したことによるものでございます。85款諸収入、48万8,200円収入未済額、それは奨学金貸付金の元金の返済が滞っている部分つまり、未返済分ということでございます。歳入については以上です。歳出につきましては、支出済額は予算に対して出していった金額、繰り越す金額は翌年度繰越額、不用額というのは使わなかった金額、ということになります。20款の民生費でございますが、予算現額は4億7,334万8千円、支出済額4億6,170万9,745円、不用額1,163万8,255円となっております。次に55款の教育費でございますが、予算現額5億9,079万7,450円、支出済額5億6,110万9,498円、翌年度繰越額1億2,179万8千円、不用額1億5,790万9,522円となっております。翌年度繰越額についてご説明いたします。15項小学校費1,718万円、20項中学校費8,943万8千円ということですが、それぞれ備考の</p>

	<p>欄に翌年度への繰越ということで書いておりますけれども、先ほど申し上げたような外壁落下防止対策事業やトイレ改修事業等で繰越たということになっております。30項20目のところに</p> <p>1, 518万円というのがあるのですが、中央公民館エレベーター改修工事が平成28年度では終わりませんでしたので、その分の繰越ということになります。最後に60款災害復旧費でございますけれども、予算現額8,661万3千円、支出済額7,047万388円、不用額1,614万2,612円となっております。不用額の主な理由についてもここにあげておりますが、20款民生費であれば児童クラブ運営事業の委託料の執行残、55款教育費事務局経費の執行残、工事関係は入札残ということになっております。30項社会教育費については受託発掘調査事業の執行残ということになりました、諸々の経費が残ってまいりました。最終的な執行率は教育委員会全体では97.1%となっております。次のページ以降で各課長から説明をさせていただきます。</p>
<p>本村企画総務課長</p>	<p>資料の16ページをご覧ください。まず、一番上の「善行児童生徒表彰事業」28万6千円でございます。この事業は、他の児童生徒の模範となる善行者を表彰するもので、宮崎市教育振興基金の繰入金及び当該基金の利子を活用して実施しております。平成28年度は小中学校あわせて個人89人と3団体を表彰しております。次に、上から3段目の「教育振興基金への積立等」2,265万3千円でございます。宮崎市教育振興基金の運用に伴う利子及び寄附された額のほか、旧宮崎市立穆佐小学校の財産処分に伴う処分金を積み立てたものでございます。次に、下から3段目の「たちあがろう未来を担う中学生交流事業」14万4千円でございます。先ほど本年度の事業をご説明いたしました、昨年度は本市の中学生と東日本大震災の中学生との相互交流について熊本地震の関係で中止をしたために、防災教育セミナーのみの経費でございます。次に、小学校費関係でございますが、下から2段目の「小学校管理運営費」4億9,471万3千円でございます。各小学校の消耗品費や備品購入費、事務機器のリース料、光熱水費のほか、学校環境の維持にかかる委託料など管理運営に要した経費でございます。次に、17ページをご覧ください。一番上の「宮崎市立古城小学校振興基金活用事業」30万円でございますが、「宮崎市立古城小学校振興基金」を活用し、古城尋常小学校において全国初の女性小学校長に就任された鳥原ツル先生を顕彰するとともに、古城小学校の児童の学習環境の充実を図ったものでございます。次に、上から2段目の「大塚小学校教室備品等火災被害復旧事業」309万7千円でございますが、平成28年5月に火災により被害を受けた宮崎市立大塚小学校の備品や消耗品を購入するなどして、教育環境の回復を図ったものでございます。次に、上から3段目の「小学校教育教材用具等購入事業」7,280万3千円でございますが、学習指導要領に基づいた教育課程を実施するために必要な教材などを整備したものでございます。次に、その下の段「小学校図書購入事業」では</p> <p>2,728万円を支出しまして、本の整備などを行い、図書の充実を図っております。また、その下の「小学校理科教育等設備器具購入事業」は、299万1千円を支出しまして、理科設備の充実を図っております。続きまして、中学校費関係でございますが、下から5段目の「中学校管理運営費」は、内容は小学校管理運営費と同様</p>

	<p>で、2億8,347万5千円を支出しております。また、このページの下から3段目の「中学校教育教材用具等購入事業」、その下の「中学校図書購入事業」、「中学校理科教育等設備器具購入事業」といったそれぞれの事業につきましても、小学校と同様に、中学校で使用する教育教材用具や学校図書、理科の備品等を整備し、教育環境の充実を図ったものでございます。企画総務課の主な施策に関する説明は以上でございます。</p>
佐土学校施設課長	<p>引き続き、学校施設課の主な事業について説明させていただきます。資料の18ページをご覧ください。小学校費関係でございます。上から2段目の「小学校施設改善事業」6,944万2千円でございます。老朽化した学校施設の補修等を実施し、教育環境の改善を図っております。次に、下から3段目の「小学校施設管理運営費」5,739万円でございます。各小学校の修繕料や学校施設の維持管理にかかる委託費用など、管理運営に要した経費を執行しております。次に、同じページの一番下の段をご覧ください。学校建設費関係でございます。主な事業といたしましては、「小学校施設整備事業」として7,794万1千円、次の19ページの上から2段目の「小学校屋内運動場屋根防水改修事業」として3,327万9千円、その下の「小学校校舎屋根防水改修事業」として7,412万円、さらに、上から6段目の「小学校トイレ改修事業」として3,691万1千円でございます。学校施設の機能向上や長寿命化対策を行っております。また、上から4段目の「小学校校舎外壁落下防止対策事業」として5,499万6千円です。老朽化した校舎の外壁材が落下しないよう事前に防止し、児童等の安全確保を図るため執行したものでございます。次に、20ページの一番上の「小学校高圧受変電設備更新事業」として6,938万4千円、「小学校プールろ過機更新事業」として1,560万6千円です。老朽化した施設の機能維持を図るため執行したものです。「西池小学校校舎増築用地購入事業」として4,467万3千円、児童数の増加に伴う教室不足を解消し、良好な教育環境を整備するため、西池小学校に隣接する宮崎県中部教育事務所跡地を購入した費用でございます。続きまして、中学校費関係でございます。同じページの上から5段目、「中学校施設改善事業」でございますが、内容は小学校費と同様で、4,019万6千円を執行しております。一番下の段の「中学校施設管理運営費」につきましても、小学校費と同様の内容で3,254万9千円を執行しております。次に、21ページの上から2段目をご覧ください。学校建設費関係でございます。主な事業といたしましては、「中学校施設整備事業」として5,143万円、上から4段目の「中学校屋内運動場屋根防水改修事業」として1,717万7千円、その下の「中学校校舎屋根防水改修事業」として6,208万7千円、一番下の「中学校トイレ改修事業」として1,741万円を執行するなど、学校施設の機能向上や長寿命化対策を行っております。次に、22ページの上から3段目の「中学校高圧受変電設備更新事業」として1,303万8千円を執行するなど、学校施設の機能維持を図っております。さらに、平成28年度は大塚小学校の西校舎火災被害、浦之名小学校の北東部法面災害を受け、「教育関連施設災害復旧事業」として7,047万1千円を執行し、児童等の安全確保を図っております。以上で学校施設課関連の説明を終わります。</p>

松竹学校教育課長	<p>引き続き、学校教育課です。23ページをご覧ください。一番上の「学校司書配置事業」9,379万3千円でございます。この事業では、学校図書館を活用した授業の充実を図るとともに、児童が常時図書館を利用できる環境を整えるため、司書資格を持った学校司書を全小学校に各1人ずつ配置いたしました。次のページをご覧ください。一番上の、「小中学校スクールカウンセリング等事業」554万2千円でございます。この事業では、小中学校のいじめや不登校に関する児童・生徒等の相談ニーズに対応するため、専門的な知識をもつ者によるカウンセリングを行うとともに、中学校にスクールアシスタントを配置するための補助を行いました。次に、その4段下の、「特別支援学級ティーチングスタッフ派遣事業」4,738万8千円でございます。この事業では、特別支援学級のうち、在籍児童・生徒数の多い学級等において、学習指導や生活指導を行うために、教員免許を有した非常勤講師を25人派遣いたしました。その下「教育アシスタント派遣事業」5,348万5千円でございます。この事業では、下肢等に障がいのある児童生徒に対して学校生活の介助を行うため、教育アシスタントを45人派遣いたしました。続きまして、その2段下の、「特別支援教育スクールサポート事業」7,336万8千円でございます。この事業では、通常の学級に在籍している発達障がい等のある児童・生徒に対して、学習及び生活面における支援を行うため、スクールサポーターを53人派遣いたしました。次のページをご覧ください。下から2段目、「小学校学力向上推進事業」1,577万8千円でございます。この事業は、学力の向上を図るため、小学校8校に非常勤講師を派遣し、授業において、ティームティーチングや個別指導などの手立てが必要な児童に対する学習支援を行ったものであります。最後にその下の段、「小学校体育アシスタント派遣事業」255万7千円でございます。この事業は、平成28年度からの新規事業であり、小学校の体育の授業に専門的な運動の指導ができるアシスタントを派遣し、児童の体力向上と教員の指導力向上を目指すものでございます。学校教育課の主な施策に関する説明は以上でございます。</p>
荒武教育情報研修センター所長	<p>教育情報研修センターの主な事業の決算について、ご説明いたします。「主要施策の成果等説明書」の30ページをご覧ください。初めに、「教職員研修運営事業」ですが、決算額は、186万3千円でございます。教職員の資質の向上を図るため、51講座の研修を実施し、延べ3,531名が受講しました。また、教職員の指導力アップのため、研究論文の募集を行い、優秀作品の表彰を行いました。次に、「情報教育推進事業」ですが、決算額は、4,815万4千円でございます。情報教育に関する研修を通して、教職員の情報教育に関する資質及びセキュリティに対する意識向上を図りました。また、情報教育アドバイザーを各学校へ派遣し、児童生徒へのコンピュータを活用した学習の支援や教職員への授業支援、ネットワーク環境の充実を図りました。次に、「小中学校コンピュータ推進事業」ですが、決算額は、2億5,979万8千円でございます。各学校に配置しております5,691台のパソコンやネットワーク機器のリース料などがございます。次に、「タブレット導入事業」ですが、決算額は、35万4千円でございます。検証用としてセンターに導入したタブレット機器のリース料でございます。小中学校において、タブレット機器環境を有効に活用するための検証</p>

	<p>を行っております。次に、「小学校外国語活動推進事業」です。決算額は、1,709万円でございます。小学校へ29名の外国語活動アシスタントを派遣し、国際理解教育の推進やコミュニケーション能力の素地を育成しました。次に、「外国人講師（ALT）招致事業」ですが、決算額は、3,854万5千円でございます。中学校へ8人のALTを派遣し、中学生のコミュニケーション能力の基礎を育成し、国際理解教育の推進を図りました。説明は、以上でございます。</p>
<p>矢野生涯学習課長補佐</p>	<p>はじめに、31ページをご覧ください。まず、1段目の「児童クラブ運営事業」4億3,102万1千円、2段目の「きよたけ児童クラブ施設指定管理料」1,433万円でございます。小学校の余裕教室等を利用した児童クラブ50箇所及び児童クラブ専用施設1箇所を開設し、表の一番下の段に掲載してありますように、延べ61万2,402人の利用がございました。次に、3段目の「児童クラブ施設整備事業」1,522万3千円でございます。表を掲載しておりますが、昨年度は、4つの学校で余裕教室や少人数教室の共用により、150人分の定員を増やしました。次に、33ページをお開きください。一段目の「子ども会関係活動事業」398万1千円でございます。子どもを対象としたリーダー研修会や育成者のための研修会を実施したほか、各地域の単位子ども会が行う活動に対し、事業支援を行いました。次に、2段目の「放課後子ども教室推進事業」1,254万4千円でございます。放課後や週末等に学校の施設や公民館を活用し、子どもたちの活動拠点を設け、地域社会の中での子どもたちの健全育成のための環境づくりを推進しました。平成26年度は、27教室、延べ5万3,211人の参加がありました。次に、34ページです。一番下の段の「地域と学校の連携による教育支援活動促進事業」143万5千円でございます。地域と学校の連携体制を構築するための事業で、配置希望のあった6つの学校に、国庫補助を活用した学校支援コーディネーターを配置し、学習支援、学校支援などを行いました。次に、36ページをお開きください。「公立公民館等管理運営費」から、一番下の「公立公民館等施設設備改善事業」までは、公立公民館に関する事業でございます。生涯学習課の所管は、中央公民館の管理運営及び整備に関する事業、公民館講座に関する事業でございます。なお、地区公民館は、昨年度より地域コミュニティ課が担当しておりますが、一番下の田野南地区公民館擁壁改修工事につきましては、生涯学習課で担当しております。当初、この工事は、平成27年度内に完了する予定でしたが、工事の施工にあたり、九州電力の電柱移設が必要となり、年度内の完了が困難となり、平成28年度に繰り越したため、引き続き生涯学習課で担当したものでございます。次に、37ページ、38ページは、図書館や読書関係の事業でございます。38ページをお開きください。38ページの1段目の「市立図書館業務NPO委託事業」7,221万6千円でございます。市立図書館につきましては、平成16年度から、施設管理を除く図書館業務をNPO法人「MCLボランティア」に委託しております。次に、39ページ1段目の「青少年非行防止・育成事業」1,338万5千円、その下の「青少年育成センター管理費」154万1千円でございます。青少年育成センターの維持管理のほか、センターを拠点として、青少年の健全育成を図るため、青少年指導委員の方々に</p>

	<p>ご協力をいただきながら、街頭指導活動、相談活動、啓発活動等の充実を図っております。最後に、40ページです。5つの事業は、「宮崎科学技術館」「大淀川学習館」「きよたけ児童文化センター」の管理運営に関するものでございます。以上で、生涯学習課の説明を終わります。</p>
<p>横山保健給食課長</p>	<p>続きまして、保健給食課の主な事業についてご説明いたします。41ページをお開きください。「学校保健安全事業」1億2,475万6千円でございます。学校保健安全法に基づく児童生徒の健康診断や、関係団体と連携し各種大会を実施しております。また、2段目、「就学時健康診断事業」786万8千円、3段目、「教職員健康診断事業」1,694万円につきましても、学校保健安全法に基づく健康診断を実施しております。次に、「要保護・準要保護医療費助成事業」727万2千円ですが、経済的理由で、医療費を負担することが困難な家庭の児童生徒の保護者に対して、学校保健安全法の対象疾病に係る医療費の助成を行いました。次に、「日本スポーツ振興センター災害共済給付契約事業」3,004万8千円ですが、学校管理下における、児童生徒のけがや病気・事故等について、医療費等の災害共済給付金の支払いを行いました。続きまして、42ページをお開きください。「思春期健康教育講師派遣事業」129万3千円ですが、学校へ助産師を派遣し、性に対する正しい知識についての講演を行い、児童生徒等6,891人が参加しております。次に、「学校フッ化物応用事業」327万1千円です。児童生徒のむし歯予防を図るため、市立小中学校におけるフッ化物洗口を実施し、実施校は平成28年度末で72校となっております。現在は全ての学校で実施されております。続きまして、20目学校給食費でございます。まず、「学校給食管理運営費」1億7,525万9千円は、単独調理場及び共同調理場の管理運営等の経費でございます。次に、「学校給食センター管理運営費」2億5,510万1千円ですが、給食の配送等の委託や、老朽化した施設や設備の維持管理、修繕等を行っております。なお、各センターの管理運営費についてはご覧のとおりでございます。次に、「学校給食食材加工等業務委託事業」3億6,367万8千円ですが、平成28年度は、小学校2校の民間委託を行いました。平成28年度末の民間委託の状況は、単独調理場は、小学校21校、中学校10校の合計31校、共同調理場1箇所となっております。次に、「清武学校給食センター設備整備事業」1,209万円、「学校給食施設設備維持管理事業」7,470万7千円ですが、機器の老朽化や衛生環境の改善のため、施設設備や厨房機器等の更新を行っております。次に、「単独調理場空調設備整備事業」540万円ですが、住吉小学校・国富小学校に空調設備を設置し、衛生管理と調理員の労働環境の改善を図っております。続きまして、41ページをお開きください。「給食事務運営費補助事業」3,449万8千円でございますが、保護者の負担軽減のため、学校給食運営に要する費用の一部について補助を行いました。次に、「食育推進事業」168万5千円ですが、食育推進のための取組として、「親子料理教室」、「学校給食用廃油リサイクル交付金事業」、「食育実践事業」の3つの事業を実施しております。最後に、「学校給食費未納対策推進事業」の8千円は、学校等が行った法的手続を前提とした取組に対して、郵便料等の助成を行いました。保健給食課の説明は以上でございます。</p>

羽木本文化財課長	<p>続きまして、文化財課の主なものについて、説明いたします。44ページをご覧ください。1段目の「文化財保護調査管理費」でございますが、決算額1,143万円でございます。主なものは、文化財審議会の開催のほか、指定文化財等の適切な保護管理を図るため、地元保存会や民間事業者等へ維持管理の委託などがございます。次に、3段目の「生目古墳群史跡公園整備事業」1,394万6千円でございますが、生目古墳群は平成10年度から継続して、国庫補助事業により史跡整備と、発掘調査を行っておりますが、昨年度は、22号墳・24号墳から26号墳の発掘調査及び、16号墳の案内板や園路などの周辺整備を実施しました。次ページ1段目、「生目古墳群世界文化遺産登録推進事業」でございますが、決算額は297万7千円です。生目古墳群を世界文化遺産登録を目標に、講演会や先進地視察、案内看板の設置、イベントの開催、パンフレットの作成を行いました。2段目の「生目の杜遊古館管理運営事業」でございますが、生目の杜遊古館の管理運営に関する事業ですが、警備・清掃等の委託や光熱水費・消耗品費等の需用費などで決算額は3,755万1千円でございます。入館者数は54,681人で前年度比12.6%増加しています。古代食体験や、古代鏡の作成、勾玉作りなどのイベントの実施しました。その下の「蓮ヶ池横穴群整備事業」、「本野原遺跡保存整備事業」、次ページ1段目、「佐土原城跡保存整備事業」3段目「穆佐城跡保存整備事業」につきましては、国指定の史跡で計画に基づき整備を進めております。一番下の「歴史資料館指定管理料」でございますが決算額が1億866万円でございます。指定管理者である公益財団法人宮崎文化振興協会による歴史資料館3館の管理運営でございます。昨年度の利用者は3館合計で109,294人で、前年度比約1,600人増加しております。3館では、各種企画展示や歴史文化講座、文化探訪バスツアーなどの事業を実施しました。次に、48ページをご覧ください。一番下の「史跡・埋蔵文化財公開活用事業」252万1千円でございます。史跡や埋蔵文化財を市民に公開し、活用してもらうため、遊古館において中学校区単位の遺跡に関する企画展示や、史跡・埋蔵文化財を活用したイベント、講演会等の啓発事業を実施いたしました。説明は以上でございます。</p>
二見教育長	<p>ただいま説明のありました、議案第25号について、ご質問はございませんか。</p>
松野代表教育委員	<p>主要施策の成果説明書に「使・手」とありますがこれはどのような意味でしょうか。</p>
小泉教育局長	<p>使用料と手数料という意味でございます。</p>
二見教育長	<p>同じく主要施策の成果説明書に「債」とありますが、その説明をしていただけますか。</p>
小泉教育局長	<p>「債」は「起債」という意味でございます。事業費の中にそれだけ借金が充てられているということです。</p>
二見教育長	<p>他にありませんでしょうか。</p>
畠山教育委員	<p>12ページに一般寄附金のとありますが、こういったものなのでしょうか。</p>
本村企画総務課長	<p>4万円ですが、内訳で申しますと3万円と1万円でお2人の方からの寄附でございます。教育に関してお使いくださいという申し出を受けた寄附でございます。16ページ、上から3番目、教育振興基金への積立として積立てております。</p>

畠山教育委員	一般の方からお申し出があるということなんですか。
本村企画総務課長	ございます。
畠山教育委員	寄附を受け付けますというようなアピールはされていないのでしょうか。
本村企画総務課長	そういう働きかけはしておりませんが、寄附はお受けしています。用途を指定し、教育に使ってくださいという方もいらっしゃいますし、福祉に使ってくださいという方もいらっしゃいます。この4万円は教育に特化してお使いくださいということでした。
二見教育長	企業へ教育のための寄附をお願いしますということはないですね。
小泉教育局長	教育の分野では、お金だけではなく、様々な形の寄附をいただき、応援をしていただいています。各学校に個別にいただいたり、教育委員会に預けられてそれを学校へ振り分けたりしているところです。
畠山教育委員	学校の洋式トイレを1校ずつ企業が作ってくださることなど耳にしますし、これはとてもありがたいことだと感じています。こういう善意が大きくなるというのは素晴らしいことではないかと感じたところでした。
佐土学校施設課長	トイレについては、今年ある民間事業者が、和式トイレを洋式に取り替えるということで小学校に1基寄附してくださいました。
二見教育長	本を寄贈いただいたり、相手方から金額を指定してもらい、こちらが寄附される物品を選んだりという形もあります。
本村企画総務課長	今年度の寄附の状況ですが、例えば、西池小学校においてはトイレや大塚中学校についてはカレンダー付きの時計がございます。7月現在で約130万円程の額に相当する寄附をいただいているところです。
二見教育長	企業の方々が本を寄贈していただいたりすると、感謝状をお渡しする場面は新聞に出していただいたりしています。 それでは、議案第25号「平成28年度一般会計歳入歳出決算の原案について」、ご承認いただけますでしょうか。
委員	異議なし。
二見教育長	それでは、議案第26号「平成29年度一般会計補正予算案の原案について」事務局から説明をお願いします。
小泉教育局長	議案第26号「平成29年度一般会計補正予算案の原案について」資料を使ってご説明いたしますので、議案第26号別紙1をご覧ください。まず、一番上の表、歳入についてですが、60款 県支出金、15項 県補助金、45目 教育費県補助金として「中学校教育振興就学援助事業」など、計4件、総額53,171千円を計上しています。続きまして、二番目の表、歳出についてですが、55款 教育費、15項 小学校費、10目 学校管理費として「宮崎市立古城小学校振興基金活用事業」など、計5件、総額1億2,718万5千円を計上しております。続きまして、一番下の表、債務負担行為についてです。債務負担行為とは、一つの事業が単年度で終了せずに、次年度においても支出をしなければならない場合に、議会の議決を経て、その期間と額を確定させるための制度でございます。今回の債務負担行為補正予算は、1件、609万円を期間は平成30年度まででございます。内訳ですが、55款 教育費、15項 小学校費、20目 学校建設費として、「住吉小学校校舎増築事業」分を計上しております。概要については以上でございます。

	<p>す。それでは、議案第26号の詳細について、各課から説明させます。</p>
本村企画総務課長	<p>それでは、企画総務課が補正予算要求しております「宮崎市立古城小学校振興基金活用事業」について説明いたしますので、お手元にご覧いただけます9月補正予算要求書の資料の51ページをご覧ください。まず、宮崎市立古城小学校振興基金でございますが、この基金は、古城小学校において全国初の女性小学校長となられた（故）前田ツル氏（旧姓：鳥原）の長女である（故）前田輝子氏の生前の意向により、前田氏の相続財産の一部が寄附され、当該寄附を原資に設置しているものでございます。これまでに、寄附者の意向を踏まえ、古城小学校校長やPTA会長などから構成される「宮崎市立古城小学校振興基金活用事業検討委員会」における検討を重ね、鳥原ツル氏の顕彰看板や遊具の設置、図書購入などを行ってまいりましたが、このたび、寄附者の意向の一つである学校図書館の整備に係る基本的イメージが整ったことから、当該整備に係る基本・実施設計委託を行おうとするものでございます。なお、当該基金につきましては、今年5月末現在、基金残高が5,506万7,667円、株式として宮崎銀行株1万2千株を保有している状況でございます。説明は、以上でございます。</p>
佐土学校施設課長	<p>引き続き、学校施設課の事業2件について説明させていただきます。1件目は「小学校空気調和設備更新事業」でございます。事業費は6,200万円で、財源といたしましては、市債が4,650万円となっております。事業の内容といたしましては、経年劣化により不具合が発生している、赤江小学校の空調設備の更新工事を行います。次に2件目の「住吉小学校校舎増築事業」でございます。事業費は平成29年度予算として261万円、財源といたしましては、市債が160万円となっております。更に債務負担行為として、609万円、財源といたしましては、市債が380万円となっております。事業費を合わせますと879万円、そのうち、市債が540万円となっております。事業の内容といたしましては、児童数が増加すると見込まれる住吉小学校において、必要な教室数を確保するため、新校舎増築に向けた基本・実施設計業務を行います。</p>
松竹学校教育課長	<p>学校教育課です。まず、歳出から説明いたします。議案第26号、別紙2の表の中ほど、「小学校教育振興就学援助事業」についてです。今回の補正は、就学援助制度に対して支給しております、新入学用品費を増額したことによるものでございます。本年度から、支給額単価をこれまでの20,470円から40,600円に増額いたしました。6月には、増額した新入学用品費の支給を行いました。増額の根拠としましては、本年3月末に、国から、要保護児童生徒援助費補助の単価一部見直しについて通知があったことによるものでございます。次に、その下、「中学校教育振興就学援助事業」についても、同様に、新入学用品費の支給額単価を23,550円から47,400円に増額したことによるものでございます。加えまして、中学校の新入学用品費につきましては、これまで入学後の6月に支給しておりましたものを、次年度入学の新中学校1年生から支給時期を早め、入学前に支給するよう考えております。事前支給に変更しますのは、保護者の負担軽減を図るためでございます。従いまして、補正額として計上しております、4,728万8千円は、増額分の1,605万1千円と、事前支給分の3,123万7</p>

	千円分を合わせた金額でございます。次に、歳入について説明いたします。議案第26号、別紙1の表の一番上、「中学校教育振興就学援助事業」の県補助金として、7万1千円の補正額を計上しておりますのは、本事業の対象者が、東日本大震災の被災生徒である場合には、県から全額補助金が交付されることによるものであります。先ほど説明しました、新入学用品費の増額分と、事前支給分の金額を合わせて、7万1千円を計上しているものです。説明は、以上でございます。
二見教育長	ただいま説明のありました、議案第26号について、ご質問はございませんか。
	松竹課長、「中学校教育振興就学援助事業」にある特定財源、県の10分の10というのはどのようなものでしたか。
松竹学校教育課長	本事業の対象者が、東日本大震災の被災生徒である場合には、県から全額補助金が交付されることによるものでありますので県補助金7万1千円の部分にあたります。
二見教育長	分かりました。他にご質問はございませんか。
	議案第26号「平成29年度一般会計補正予算案の原案について」、ご承認いただけますでしょうか。
委員	異議なし。
二見教育長	以上で、議案は承認されました。次に、報告でございます。53ページをご覧ください。まず、報告第37号「宮崎市行政改革推進本部会議の報告について」、事務局から説明をお願いします。
山本企画総務課長補佐	それでは、8月17日（木）に行われました「宮崎市行政改革推進本部会議について」、報告させていただきます。資料はお手元の当日配付資料になります。報告第37号別紙をご覧ください。こちらが報告の概要と当日配付された資料でございます。詳細につきましては、会議資料をお時間のある時にご覧いただければと思います。17日に「宮崎市行政改革推進本部会議」が開催されました。概要につきましては、議案の柱が2本ございました。まず、「第7次宮崎市行財政改革大綱（改訂版）」に基づく平成28年度の取組実績についてです。現在の第7次行財政改革大綱につきましては、平成25年度から平成29年度の5年間の計画でございます。このうち行財政改革に取り組んだ結果、平成28年度は3億6,258万円の経費節減効果を得ております。このうち教育委員会関係では、学校給食調理業務の委託によりまして、約2,963万円の節減効果額を得ております。もうひとつの議事、次期計画になります「第8次宮崎市行財政改革大綱」の骨子（案）について説明が行われました。こちらの記載にありますように、第8次大綱が同じく策定中でございます第五次宮崎市総合計画と整合性を図るため、取組期間は平成30年度～平成34年度の5年間となります。今回の骨子（案）で、新たに「公民連携の推進」という視点が付け加えられております。共通視点につきましては、視点1から視点4までの新たな項目が付け加えられております。最後になりますが、資料の14ページをお開きください。今後のスケジュールが示されております。今度の12月にそれぞれ第2回、第3回と会議が開催されまして、2月のパブリックコメントを受けまして最終的に3月に第8次の行政改革大綱が策定されるという流れでございます。報告は以上でございます。
二見教育長	ただいまの説明に対し、ご質問はございませんか。また、お気付

	きになられた点がございますでしょうか。
委員	なし。
二見教育長	それでは、報告第38号「公益財団法人宮崎文化振興協会の経営状況について」、事務局から説明をお願いします。
矢野生涯学習課長補佐	<p>それでは、報告第38号「公益財団法人宮崎文化振興協会の経営状況について」報告させていただきます。57ページに関係法令を記載しておりますが、地方自治法施行令第152条第1項第2号にありますように、普通地方公共団体が、資本金、基本金その他これらに準ずるものの2分の1以上出資している法人である公益財団法人宮崎文化振興協会は、地方自治法第234条の3第2項により、毎事業年度、経営状況を説明する資料を作成し、議会に提出しなければならないとされております。「公益財団法人宮崎文化振興協会」から、経営状況を説明する資料が提出されましたのでご報告いたします。お手元の、平成28年度公益財団法人宮崎文化振興協会の事業報告書及び決算書により、説明いたします。ボリュームがありますので、主なものを説明いたします。40ページをお開きください。これまでの各施設の入館者数の推移でございます。一行目に、施設名を掲載しております。宮崎文化振興協会は、記載のとおり、6館の施設について、指定管理者として施設の運営を行っております。はじめに、表の一番左の「宮崎科学技術館」の、平成28年度の入館者数は、一番下の段にありますように、16万285人で、前年度より1,335人増加いたしております。次に、「みやざき歴史文化館」が6万4,786人、「佐土原歴史資料館」が2万943人、「天ヶ城歴史民俗資料館」が2万3,565人で、3館合計すると10万9,294人ございまして、前年度より2,062人増加いたしております。次に、「大淀川学習館」につきましても、18万3,485人。昨年度よりは1,243人減っておりますが、それでも3年連続18万人を超えております。最後に「宮崎市民プラザ」ですが、24万8,062人。前年度より1,851人減少しております。6つの施設の入館者の合計は、昨年度とほぼ同じ状況でした。次に、各施設の事業実績につきましてもご説明いたします。1ページをご覧ください。はじめに、「事務局経営戦略課」でございます。複数館を利用した公益目的事業の推進として、3つの事業を実施しておりますが、(3)の、「1日子ども館長の実施」については、小学4年生から6年生を対象に、施設の仕事に理解を深めてもらうため、子どもたちが各施設で「1日子ども館長」になり、職員と一緒にイベントの準備などに取り組み、仕事の大変さや喜びを感じる機会を提供しました。2番目の地域活性化の取り組みとして、認知症予防などに効果があるとされる回想法について、地域の方々から寄贈を受けた昔の生活用品を活用して「回想法貸出セット」を作り、「博福連携」に取り組みました。次に、3ページをご覧ください。「宮崎科学技術館」でございます。宮崎科学技術館の実績につきましては、3ページから12ページまで掲載しております。4ページから5ページに掲載しております、3番目の教室事業として科学実験・工作教室・パソコン講座のほか、5ページから7ページに掲載のプラネタリウムを活用した9の事業や8ページから12ページに掲載の19の主要事業10の共催事業に取り組みました。8ページをご覧ください。①の企画展「光の遊園地」は、光を利用した不思議な現象を展示し、期間中は多く</p>

の入場者で賑わいました。また③の科学と遊ぼう！子どもの日、⑤の感謝の集い七夕まつりは恒例行事として無料開放し、多くの親子連れでご利用いただきました。次に、「宮崎市歴史資料館」3館の事業でございます。13ページから26ページにかけて掲載しておりますが、毎年、多くの事業に取り組んでおります。代表的なもののみ紹介します。はじめに、「みやざき歴史文化館」でございますが、(3)夏の企画展「子どものための夏休み自由研究みやざきのれきし・ふしぎ」は、小学校高学年の児童を対象に、「絵画土器の不思議」「横穴群の不思議」などの内容で夏休みの自由研究や課題として取り組めるようにしました。また、一番下の(5)企画展「宮崎の神社散歩」は、写真と由来をパネルで展示し、期間中に歴史探訪を実施しました。次に「宮崎市佐土原歴史資料館」でございます。18ページから22ページにかけて掲載しております。20ページをご覧ください。20ページ一番上の企画展「幕末・維新期の佐土原」で、佐土原藩と薩摩藩との関係や佐土原藩の業績にまつわる資料を展示しました。21ページの5イベント事業では、地元の団体や施設との共催事業として、佐土原くじら子どもまつり、佐土原花しょうぶ祭り、神代独楽回し大会などを実施しました。中でも、花しょうぶ祭りは、2日間で多くの来場者がありました。次に「宮崎市天ヶ城歴史民俗資料館」です。23ページから26ページにかけて掲載しております。24ページをご覧ください。企画展示事業です。5つの事業を実施しておりますが、「(1)のたかおか草花さんぽ展」は、植物の視点から高岡の歴史・民俗・花の見どころを紹介する展示や合わせて関連する「草木染め」や「草だんごづくり」を行いました。また、25ページの「(5)なつかしい！知恵がつまったむかしの道具展」は、小学3年生の社会科の授業に役立つよう、古民具や写真などを展示しました。次に、「大淀川学習館」でございます。27ページから34ページにかけて掲載しております。28ページをご覧ください。28ページから32ページまでは展示事業です。28ページ一番下の①特別企画展の「ザリガニ展」、そして、29ページ②の「カブトムシ・クワガタムシ展」、は特に人気があります。今年も、現在「カブトムシ・クワガタムシ展」を開催しておりますが、9月18日まで期間を延長して実施いたします。また、④の「ドクターフィッシュ体験」、⑧「県産材積み木で遊ぼう！」など、多くの方に来場していただきました。最後に「宮崎市民プラザ」でございます。35ページから37ページにかけて掲載しております。36ページをご覧ください。表にありますとおり、平成28年度は8つの自主事業を実施しております。第10回目を記念した市民プラザコンサートは、熊本地震のチャリティとして実施し、入場料の半額を、全国国立文化施設協会を通して被災した施設に寄附しました。続きまして、決算についてご説明いたします。41ページから48ページまでが決算関係の資料になります。42ページ、43ページの正味財産増減計算書により、説明いたします。正味財産増減計算書は、民間企業の損益計算書に相当するものでございます。まず、42ページの上の段、一般正味財産経常増減の部をご覧ください。一番上の一般正味財産増減の部の1経常増減の部でございます。(1)経常収益でございますが、①基本財産運用益から⑤雑収益までのうち、主なものは③事業収益でございます。本市から協会への指定管理料、自主事業収益等でございます。

	<p>経常収益の合計は、5億7,366万5,849円となりました。次に、(2) 経常費用でございますが、①事業費は所管施設の運営に要する経費、②管理費は、協会の運営に係る経常的に要する経費でございます。その合計は、43ページの計算書の中央にあります経常費用計(B)でございます。経常費用の合計は、5億6,848万4,108円となりました。42ページの経常収益計(A)から43ページの中段にあります経常費用計(B)を差し引いたものが当期経常増減額(A)-(B)で、平成28年度は、518万1,741円の黒字となっております。続きまして、平成29年度の事業計画及び予算について、ご説明いたします。平成29年度事業計画書及び収支予算書の1ページをご覧ください。協会基本方針とありますが、協会においては、昨年度同様、「公益目的事業の更なる推進」「地域活性化への貢献」「協会経営の自主性、自立性の確保」という「3つの方針」に基づき、6館の指定管理者として、引き続き適正な管理運営を行うことにしております。平成29年度の主な事業でございますが、まず、3ページの「事務局経営戦略課」の事業として、平成28年度と同様に「1日こども館長事業」「子どものための音楽会事業」「学習目的による施設利用推進事業」を引き続き実施します。次に5ページです。5ページの「宮崎科学技術館」では、5番目にありますが、学校や企業、ボランティア団体等とのネットワークの連携強化を図り、これまで同様に各種事業を展開していくほか、8月2日に開館30周年を迎えておりますが、イベント事業として記念事業を実施します。次に、12ページをご覧ください。12ページから19ページにかけての、「宮崎市歴史資料館3館」において、それぞれの施設の特性を活かして、例年実施している事業のほか、新たな企画展示も実施します。20ページをご覧ください。20ページから29ページにかけて、「大淀川学習館」においては、学校対応事業や自然環境・水資源について理解を深める教室事業、人気のザリガニ展、カブトムシ・クワガタムシ展などの企画展やイベント事業を実施します。次に、30ページの「宮崎市民プラザ」です。30ページの2自主事業については、3つの取り組み方針に沿って、新規事業も含め31ページから32ページに掲載の事業に取り組みます。最後に、収支予算につきましてご説明いたします。33ページをご覧ください。まず、一番左上の一般正味財産増減の部、経常増減の部(1) 経常収益でございますが、下に経常収益計の段がありますが、合計で5億4,616万1千円で、前年度に比べ3,023万3千円の減額となっております。次に、その下の(2) 経常費用でございますが、各施設の運営費等の事業費及び34ページの管理費でございます。34ページの中段よりやや下にありますが経常費用計は5億7,068万1千円で、前年度に比べ2,734万7千円の減額となりました。いずれも、指定管理料の減額によるものでございます。以上で、説明を終わります。</p>
二見教育長	<p>ただいまの説明に対し、ご質問はございませんか。また、お気づきになられた点はございますでしょうか。</p>
松野代表教育委員	<p>夏休みに孫達を連れてみやざき歴史文化館、科学技術館、大淀川学習館の3か所を回らせてもらいました。非常に人気があり、子どもたちは本当に喜びました。以前のみやざき歴史文化館と比べ、パネルでみやざき歴史文化館の歴史や宮崎の歴史などを立派に作っ</p>

	てあり、それを見るだけでも充実しているというのが感じられました。本当にお礼を申し上げたいと思います。以上です。
江草教育委員	児童館に勤めていますが、児童館にも大淀川学習館やみやざき歴史文化館から出前講座に来ていただいて、子どもたちもすごく楽しんでいました。ありがとうございました。
二見教育長	指定管理になってから、入館者数が増えたと思います。
	続いて、報告第39号「平成29年度第1回宮崎市生目の杜遊古館運営委員会について」事務局から説明をお願いします。
羽木本文化財課長	それでは、報告第39号「平成29年度第1回宮崎市生目の杜遊古館運営委員会について」、報告いたします。第1回宮崎市生目の杜遊古館運営委員会を8月16日生目の杜遊古館研修室にて行いました。委嘱状交付後、平成28年度の事業報告、平成29年度運営方針、平成29年度事業計画の説明をいたしました。平成29年度につきましては、遊古館の運営改善、環境整備、宣伝活用の充実、体験学習の充実の4つを重点項目のもとに各種事業に取り組むことを説明いたしました。委員の方からは、みやざき歴史文化館を今後どのように統合していくのか、また平成29年度の入館者の状態はいかがかなどの質問がございました。説明は以上です。
二見教育長	ただいまの説明に対し、ご質問はございませんか。また、お気づきになられた点はございますでしょうか。
委員	なし。
二見教育長	ないようでしたら、次に、報告第40号「その他の事件の報告について」、報告第41号「臨時代理の報告について」でございませう。これにつきましては、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第7項により、非公開としたいと思いますが、いかがでしょうか。
委員	異議なし。
二見教育長	それでは、ただいまより、非公開といたします。
	それでは、ここで非公開を解除いたします。 次に、「5 その他」に移らせていただきます。
松竹学校教育課長	その他として2つよろしいでしょうか。一つ目、当日配付として机にお配りしております、教科書として使用する一般図書について説明をさせていただきます。一般図書の教科書としての使用について、特別支援学校・特別支援学級の部分です。白丸1つ目、特別支援学級においては、学校教育法の規定により、教科書目録に記載されている教科書以外の教科用図書を使用することができると定められております。白丸2つ目、3つ目のように配慮事項がございました。白丸4つ目、一般図書、つまり絵本等の使用にあたっては、当該学校から市町村教育委員会へ採択理由を付して使用申請が必要でございます。現状でございますが、本市で現在使用しているのは、小学校6年生の児童1名でございます。中学校に入学予定ですので、中学校内に検討委員会を立ち上げていただいて、検討をお願いする運びでございます。1番下です。学校から申請があった場合には、教科用図書の採択、採択権者は宮崎市教育委員会となります。学校からの使用申請を本市教育委員会定例会で承認し、県へ報告するという運びになります。一般図書については以上でございます。 二つ目、先日7月31日に発生いたしました水難事故について概要をご報告させていただきます。既に新聞報道されておりますが、本郷中学校の2年生の男子生徒です。7月31日、水難事故による

	死亡です。事故の程度でございますが、潜水橋から飛び込んだ際、水深約3メートルの川底に沈み、通りがかった大人の通報により連絡を受けた消防が約40分後に救出し、大学病院へ搬送されましたが、同日夜10時過ぎに死亡が確認されたものでございます。
二見教育長	よろしいでしょうか。 「6 次回委員会の決定」について、事務局から説明をお願いします。
本村企画総務課長	次回定例会は、平成29年9月27日(水)午後1時40分から、教育委員会室で開催することをご提案いたします。
二見教育長	提案のありました日時で、次回定例会を開催してよろしいでしょうか。
委員	はい。
二見教育長	続きまして、「7 行事予定」について、事務局から説明をお願いします。
本村企画総務課長	(説 明)
二見教育長	以上をもちまして、第9回定例会を終了させていただきます。